特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名	
13	特別児童扶養手当に関する事務	基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

船橋市は、特別児童扶養手当に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを回避するために、特定個人情報ファイルの適正な取扱いを確保し、特定個人情報の漏えいその他の事態を未然に防ぐため、事前分析を行い適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

特別児童扶養手当に関する事務において取り扱う全てのシステム操作者に対しては、守秘義務を課し、事務に応じた操作権限を設定している。また、システム操作に係る履歴を保存し、操作者を特定できるよう対策を講じている。

業務委託先事業者に対しては、業務目的以外での特定個人情報の利用の禁止を義務付ける等の制限を契約書に含める等の対策を講じている。

評価実施機関名

船橋市長

公表日

令和7年3月31日

[令和6年10月 様式2]

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務							
①事務の名称	特別児童扶養手当に関する事務						
②事務の概要	(評価対象事務全体の概要) 特別児童扶養手当等の支給に関する法律(昭和39年法律第134号)に基づき、特別児童扶養手当(※) の認定請求等の受付、認定審査、支給決定、手当の支給等を行う。 ※身体又は精神に特別児童扶養手当等の支給に関する法律に定める程度の障害(身体障害者手帳 1、2、3、4級の一部又は療育手帳A、Bの一部程度の障害)のある20歳未満の児童を監護している父母または養育者に支給する手当。 (特定個人情報ファイルを使用して実施する事務の具体的な内容) 特別児童扶養手当等の支給に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号。以下「番号法」という。)の規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 1. 特別児童扶養手当の認定請求の受理、認定、認定結果の通知新規申請に基づき認定審査、支給決定、結果通知の送付 2. 特別児童扶養手当の認改定届の受理、内容審査、結果の通知対象児童の障害程度が軽度に変更、又は監護しなくなったときに、届出に基づき内容審査、減額決定、結果通知の送付 3. 特別児童扶養手当の額改定請求書の受理、内容審査、結果の通知対象児童の障害程度が重度に変更、又は障害児童数が増加したときに、申請に基づき内容審査、増額決定、決定通知の送付 4. 特別児童扶養手当の所得状況届の受理、内容審査、結果の通知当年8月から翌年7月までの手当支給要件(所得制限等)を確認するため、一定期間内に届出受理、内容審査、期間更新決定、決定通知の送付 5. 氏名、住所、支払方法変更届の受理、内容確認、特別児童扶養手当証書の交付及び返付各種変更届(住所、受給者氏名、金融機関等)に基づき、届出受理、内容審査、変更決定、決定通知の送付 6. 未支払特別児童扶養手当請求書の受理、特別児童扶養手当支払通知書の交付支給停止消滅事由(所得金額、控除額、扶養人数等の変更)に基づき、内容審査、支給再開決定、決定通知の送付 7. 特別児童扶養手当資格喪失通知書の交付						
③システムの名称	障害者福祉システム、ケース台帳管理システム、団体内統合宛名システム(番号連携サーバー)、自治体中間サーバー						
2. 特定個人情報ファイル	名						
特別児童扶養手当情報ファイ	IL						
3. 個人番号の利用							
法令上の根拠	番号法第9条第1項及び別表の66の項						
4. 情報提供ネットワークシ	4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携						
①実施の有無	<選択肢>						
②法令上の根拠	(船橋市が照会する根拠) 番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表91の項 (船橋市が提供する根拠) なし(特別児童扶養手当に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる提供は行わない。)						

5. 評価実施機関における担当部署							
①部署	船橋市健康福祉局福祉サービス部障害福祉課						
②所属長の役職名	課長						
6. 他の評価実施機関							
_							
7. 特定個人情報の開示・	訂正・利用停止請求						
船橋市総務部総務法制課 〒273-8501 千葉県船橋市湊町2丁目10番25号 電話 047-436-2062							
8. 特定個人情報ファイルの	の取扱いに関する問合せ						
連絡先	船橋市健康福祉局福祉サービス部障害福祉課 〒273-8501 千葉県船橋市湊町2丁目10番25号 電話 047-436-2345						
9. 規則第9条第2項の適用	用 []適用した						
適用した理由							

Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人数						
評価対象の事務の対象人数は何人か		[1,000人以上1万人未満]]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上	
	いつ時点の計数か	令和	12年3月31日 時点			
2. 取扱者	数					
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か		[500人未満]		<選択肢> 1)500人以上 2)500人未満	
いつ時点の計数か		令和2年10月1日 時点				
3. 重大事故						
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人 情報に関する重大事故が発生したか			発生なし		<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし	

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果

基礎項目評価の実施が義務付けられる

Ⅳ リスク対策

1. 提出する特定個人情報	1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類							
〈選択肢〉 1) 基礎項目評価書 [基礎項目評価書] 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。								
2. 特定個人情報の入手(作	青報提供ネットワーク	システムを通じた	と入手を除く。)					
目的外の入手が行われるリ スクへの対策は十分か	[十分であ	ర]	<選択肢> 1)特に力を入れている 2)十分である 3)課題が残されている					
3. 特定個人情報の使用								
目的を超えた紐付け、事務に 必要のない情報との紐付けが 行われるリスクへの対策は十 分か	[十分であ	ర]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている					
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分であ	ర]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている					
4. 特定個人情報ファイルの	の取扱いの委託		1]委託しない				
委託先における不正な使用 等のリスクへの対策は十分か	[十分であ	ర]	<選択肢> 1)特に力を入れている 2)十分である 3)課題が残されている					
5. 特定個人情報の提供・移転	☆(委託や情報提供ネッ	トワークシステムで	を通じた提供を除く。) []提供・移転しない				
不正な提供・移転が行われる リスクへの対策は十分か	[十分であ	ర]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている					

6. 情	報提供ネットワークシ	ステムと	の接続		[]接編	売しない(入手)	[〇]接続しない(提供)	
	トの入手が行われるリ の対策は十分か	[十分である]		<選択肢> 1) 特に力を入れ 2) 十分である 3) 課題が残され		
不正な提供が行われるリスク への対策は十分か		[]		<選択肢> 1) 特に力を入れ 2) 十分である 3) 課題が残され		
7. 特	定個人情報の保管・決	消去						
	国人情報の漏えい・滅 員リスクへの対策は十	[十分である]		<選択肢> 1) 特に力を入れ 2) 十分である 3) 課題が残され		
8. 人	手を介在させる作業				[]人	手を介在させる作	手業はない	
	りミスが発生するリスク 策は十分か	[十分である]		<選択肢> 1) 特に力を入れ 2) 十分である 3) 課題が残され	_	
	判断の根拠	項を厳ネッ・住基本を ・本照・本照の ・本照の ・本の ・中二の ・中二の ・特定個	している。 シト照会によりマイナ する。 からマイナンバーが 原則とする。 りほか、特定個人情報 こ対し、例えば次の。 等に記載された個人 人情報の廃棄につい	ンバーを取得得られない場合。 おいまい はの取扱いには おうな対策を 諸号及び本人で、複数人で	するのでは 合に行う住 関して手作 じている。 情報のシュ 確認を行う	なく、原則として本 基ネット照会は、4년 業が介在する局面 ステムへの入力になっ。	なガイドライン」に従い、次の人等からのマイナンバーの耳 青報又は住所を含む3情報に において、人為的ミスが発生 ついて、複数人で確認を行う。 策は「十分である」と考えられ	取 こよ Eす 。
9. 監	· 查							
実施の有無		[0]	自己点検	[O] Þ	n部監査	[0]	外部監査	
10. 初	業者に対する教育・	啓発						
従業者	音に対する教育・啓発	[十分に行っている]		<選択肢> 1) 特に力を入れ 2) 十分に行って 3) 十分に行って	いる	

11. 最も優先度が高いと考	えられる対策 []全項目評価又は重点項目評価を実施する
最も優先度が高いと考えられ る対策	[8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策] <選択肢> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要のない情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策
	5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業者に対する教育・啓発
当該対策は十分か【再掲】	<選択肢> (選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	船橋市情報セキュリティ対策基準及び特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン(行政機関等編)に則り、漏えい・滅失・毀損を防ぐための物理的安全管理措置、技術的安全管理措置等を講じるとともに、特定個人情報ファイルの滅失・毀損が万が一発生した場合に備え、バックアップを保管している。また、特定個人情報について、下記を徹底する運用としている。・特定個人情報を含む書類は、施錠できる書棚等に保管することを徹底する。・USBメモリは、事前に許可を得た媒体のみ使用可能となるよう業務端末上制御を行っている。また、使用する場合は、暗号化、パスワードによる保護等を行うルールを周知徹底している。・不要文書を廃棄する際は、特定個人情報が記録された書類等が混入していないか、複数人による確認を行ったことを確認すること。・特定個人情報が記録された書類等を廃棄する場合には、廃棄した記録を保存すること。これらの対策を講じていることから、特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は「十分である」と考えられる。

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和4年2月22日	I 関連情報 3. 個人番号の利用 法令上の根拠	・番号法第9条第1項及び別表第一の46の項 ・行政手続における特定の個人を識別するため の番号の利用等に関する法律別表第一の主務 省令で定める事務を定める命令(平成26年/内 閣府/総務省/令第5号)第37条	番号法第9条第1項及び別表第一の46の項	事後	
令和4年2月22日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシス テムによる情報連携 ②法令上の根拠	(船橋市が照会する根拠) 番号法第19条第7号及び別表第二の66の項 (行政手続における特定の個人を識別するため の番号の利用等に関する法律別表第二の主務 省令で定める事務及び情報を定める命令(平成 26年/内閣府/総務省/令第7号)第37条) (船橋市が提供する根拠) なし(特別児童扶養手当に関する事務におい て情報提供ネットワークシステムによる提供は 行わない。)	番号法第19条第8号及び別表第二の66の項	事後	
令和5年3月31日	7 特定個人情報の関ラ・計	船橋市総務部法務課 〒273-8501 千葉県船橋市湊町2丁目10番25 号 電話 047-436-2062	船橋市総務部総務法制課 〒273-8501 千葉県船橋市湊町2丁目10番25 号 電話 047-436-2062	事後	
令和7年3月31日	I 関連情報 3. 個人番号の利用 法令上の根拠	番号法第9条第1項及び別表第一の46の項	番号法第9条第1項及び別表の66の項	事後	
令和7年3月31日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシス テムによる情報連携 ②法令上の根拠	(船橋市が照会する根拠) 番号法第19条第8号及び別表第二の66の項 (船橋市が提供する根拠) なし(特別児童扶養手当に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる提供は行わない。)	(船橋市が照会する根拠) 番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条 の表91の項 (船橋市が提供する根拠) なし(特別児童扶養手当に関する事務におい て情報提供ネットワークシステムによる提供は 行わない。)	事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和7年3月31日	IV リスク対策 8. 人手を介在させる作業	-	様式変更に伴い追記	事後	
令和7年3月31日	IV リスク対策 11. 最も優先度が高いと考え られる対策	-	様式変更に伴い追記	事後	